

経営革新セミナー（8）「DX、もうベンダー任せから卒業しませんか？」

1. 概要

◇テーマ：

DXを実現するためにはITシステムを導入しなければならない・・・でも投資金額も時間もかかるし・・・と悩んでおられる方は多いのではないのでしょうか？

ITベンダーに頼まなくても、「ローコード/ノーコードツール」を使った自社開発により、素早く間違いのないITシステム開発を行う方法が注目されています。

EXCELを使うことのできる人ならちょっとしたトレーニングで、「ローコード/ノーコードツール」を使えるようになります。トレーニングにかかる費用については、助成金制度が大変使いやすくなっています。

今回はその取組事例の紹介と留意点、さらにトレーニングにかかる費用負担への助成金制度について解説いたします。

◇開催日時：令和5年10月5日（木）14:00～15:30

◇会場：①ウインクあいち（名古屋市中村区名駅4-4-38）14Fセミナールーム
②Web配信（Zoomを使用）

◇参加費用：無料

◇対象：中小企業経営者・担当者等

◇定員：①10名
②40名

◇主催：公益財団法人あいち産業振興機構

2. タイムテーブル

・14:00～15:00「第1部 自社開発こそDX成功の早道」

【講師】（公財）あいち産業振興機構 DX担当マネージャー 吉田信人

・15:00～15:30「第2部 人材開発支援助成金制度の解説」

【講師】愛知労働局 職業安定部 事業主支援アドバイザー 近藤八朗

・15:30～ 個別相談会

結果報告

30名の参加申込があり、最終的に当日は23名（来訪5名・オンライン18名）の参加となりました。

初めに、吉田講師より、システム開発の伝統的手法とカイゼン思想を取り入れた手法の比較を説明し、小中規模開発であれば後者が低コストで柔軟性があること、また、その具体的な方法としてGoogleスプレッドシートを活用したノーコードのアプリ作成のデモを動画で紹介し、活用の留意点として属人化を避けることが必要であることを解説しました。

続いて、近藤講師より、人材開発支援助成金の中でも特に活用されている実績の多い「人材育成支援」、「人への投資促進」、「事業展開等リスクリング支援」の3コースについて、各コースの助成となるポイントについて詳細に説明を行いました。

(会場風景)



(講師：(公財) あいち産業振興機構 DX 担当マネージャー 吉田 信人)



(講師：厚生労働省 愛知労働局 職業安定部 事業主支援アドバイザー 近藤八朗)

参加者の感想

Aさん

スプレッドシートからアプリが簡単に作成できることを知り非常に感動した。

Bさん

ノーコード（ローコード）の実演を見ることができてよかった。

Cさん

ローコード、ノーコードを使用する際に、仕様書やデータモデリングを省いてしまうこともあり、今後意識して作成していきたいと思った。

Dさん

ローコード/ノーコードツールがたくさんあること、またそれと認識せずに使用していたものがあつたことに気づいた。デモを見て使用感がつかめたし、自社業務のどこに利用できるのかと考える視点を持てた。

Eさん

属人化を防ぐポイント等、プログラム管理の標準化面で気づきがありよかった。

以上